

	評 価 項 目	評 価	現 状 及 び 課 題	改 善 策	備 考
		④適切 ③ほぼ適切 ②やや不適切 ①不適切			
教育目標 教育理念	①教育理念・教育目標は、定められているか。	④ 3 2 1	・教育理念及び目標は学生便覧に記載し、オリエンテーションで周知されている。  ・入学前オリエンテーションで、保護者にも教育理念・目標を説明している。		
	②教育理念・教育目標は社会のニーズに合っているか。	④ 3 2 1			
	③学校の教育理念・教育目標は、学生・保護者に周知がなされているか。	④ 3 2 1			
学校運営	①学校の教育目標に沿った運営方針が策定されているか。	④ 3 2 1	・学校内の意思決定は明確にしているが、法人全体の流れまでは、明確化されていない。  ・ホームページで教育活動等の情報公開をしている。	・情報システムの整備等を行い、効率的な業務を検討する必要がある。	
	②運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	④ 3 2 1			
	③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか。	4 ③ 2 1			
	④人事・給与等に関する規程等は整備されているか。	4 ③ 2 1			
	⑤業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	④ 3 2 1			
	⑥教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	④ 3 2 1			
	⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	④ 3 2 1			
	⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4 3 ② 1			
教育活動	①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	④ 3 2 1	・教育カリキュラムは、介護福祉士養成施設指定規則に基づき、適切に策定している。  ・令和元年度より千代の介護現場と一体型の後者に移転した。そこで、介護現場との連携をとりながら実践教育を行った。	・介護現場の職員と情報交換を行いながら、介護現場の意見を組み入れたカリキュラム作成を行う。	
	②教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	④ 3 2 1			
	③学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	④ 3 2 1			
	④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	④ 3 2 1			
	⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4 ③ 2 1			
	⑥関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が行われているか。	④ 3 2 1			
	⑦授業評価の実施・評価体制はあるか。	④ 3 2 1			
	⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4 ③ 2 1			
	⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	④ 3 2 1			

令和元年度 福岡介護福祉専門学校 学校関係者評価					
	⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	④ 3 2 1			
教育活動	⑪人材育成目標の達成に向け、授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか。	④ 3 2 1	・教員の研修については、介護福祉士養成施設協会の研修及び人権研修を中心に参加している。研修後には校内伝達講習を行っている。	・協会の研修にとどまらず、教員個人の資質向上のための研修を受講できる機会を作る。	
	⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどのマネジメントが行われているか。	④ 3 2 1			
	⑬関連分野における先端的な知識等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか。	4 ③ 2 1			
	⑭職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか。	4 ③ 2 1			
学修成果	①就職率の向上が図られているか。	④ 3 2 1	・令和元年は5名が退学した。やむを得ない理由のものが多かったが、早期に退学のサインを把握できていたとは言えなかった。	・学生との関係を築き、学生の変化に早期に対応できるようにする。	
	②資格取得率の向上が図られているか。	④ 3 2 1			
	③退学率の低減が図られているか。	4 3 2 ①			
	④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	④ 3 2 1			
	⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか。	④ 3 2 1			
学生支援	①就職に関する支援体制は整備されていますか。	④ 3 2 1	・子育てをしている学生が増加している等、生活背景が多様化している。 ・精神的な課題を抱えている学生が増加している。 ・卒業生の支援については、現在同窓会がなく、十分に支援態勢が整っているとは言えない。	・生活背景の多様化に柔軟に対応できるよう就学環境をととのえる。 ・学生の変化にいち早く気づき、早期対応できる体制を整える。 ・同窓会の設立を行い、卒業生支援環境を整える。	
	②学生相談に関する体制は整備されているか。	④ 3 2 1			
	③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	④ 3 2 1			
	④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	④ 3 2 1			
	⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。	④ 3 2 1			
	⑥学生の生活環境への支援は行われているか。	4 ③ 2 1			
	⑦保護者と適切に連携しているか。	④ 3 2 1			
	⑧卒業生への支援体制はあるか。	4 3 ② 1			
	⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4 ③ 2 1			
	⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか。	4 ③ 2 1			
教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4 ③ 2 1	・現行法に対応する設備は整備している。 ・新校舎に移転し、最新の福祉教育環境が整備された。	・本法人以外の施設にも継続して実習の受け入れを依頼し、地域に根差した教育を行う。	
	②学内の実習施設・インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか。	④ 3 2 1			
	③防災に対する体制は整備されているか。	④ 3 2 1			
学生の受け入れ募集	①高等学校等に対して情報提供等の取り組みが適切に行われているか。	4 3 ② 1	・令和2年入学生は26名となり、前年の19名から増加した。反面高校卒業生が減少するという課題が残った。	・高校卒業生の入学を増やせるよう、ニーズに合わせた募集戦略を行っていく。	
	②学生募集活動は、適切に行われているか。	4 ③ 2 1			
	③学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正	4 ③ 2 1			

令和元年度 福岡介護福祉専門学校 学校関係者評価					
	確に伝えられているか。				
	④校納金は、妥当なものとなっているか。	④ 3 2 1			
財 務	①中長期的に学校の財務基盤は、安定しているといえるか。	4 ③ 2 1	・入学生が増加したことで、財務基盤の安定に向け一歩踏み出した。	・2年生が12名と少ないため、財政面の安定にはまだ届かない現状がある。令和3年度入学生を25名以上受け入れることで財政安定を目指す。	
	②予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか。	4 ③ 2 1			
	③財務について会計監査が適正に行われているか。	④ 3 2 1			
	④財務情報公開の体制は、準備はできているか。	4 ③ 2 1			
法令等の遵守	①法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	④ 3 2 1	・法令・専修学校設置基準等及び介護福祉士養成施設指定規則に準じて運営を行っている。	・今後も法令を順守して教育活動を行う。	
	②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	④ 3 2 1			
	③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	④ 3 2 1			
	④自己評価結果を公表しているか。	④ 3 2 1			
地域貢献・社会貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	④ 3 2 1	・福祉ボランティア（施設の夏祭りなど）への積極的な参加を学生に促している。 ・参加する学生が特定の者に偏る傾向にある。	全学生が、教育の機会としてボランティアをとらえ、参加していくよう、指導する。	
	②学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	④ 3 2 1			
	③地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか。	④ 3 2 1			
国際交流	①留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって行っているか。	4 ③ 2 1	・令和元年度は初めて留学生3名を受け入れた。 ・学習指導についても、個別対応をしながら、適切に支援ができた。	・令和2年度は留学生が10名と大幅に増えるため、より学習支援を充実させて行く必要がある。	
	②留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	4 3 2 ①			
	③留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	4 3 2 ①			